

親子聖書日課

[日]私達は人を裁く「怒りの器」として、主に召し出されたのではなく、人を愛し、赦す「憐れみの器」として召し出されました。主の怒りに遭うべき者が、主の憐れみによって赦されたことを証するために選ばれたのです。主の栄光を輝かせましょう。

[月]心の中で主を信じればよいという人がいますが、十分ではありません。私達の心は変わりやすいからです。「イエスは主であると、口で公に言い表して救われるのです」言い表すことによって、確信が与えられます。恐れず告白しましょう。

[火]忠実な者は自分だけと思ってはいけません。「現に今も、恵みによって選ばれた者が残って」います。他にも忠実な者がいます。その人達を見い出して、一緒に働く時、福音の働きは拡大します。選ばれた者として、忠実に主に仕えましょう。

[水]主は私達を愛するが故に、怠惰な生き方に対して厳しく裁かれます。甘えは禁物です。信仰に堅く立ち、悪いことはきっぱりと止めましょう。主に「接ぎ木され」と、命を頂き、御霊の実を結べます。「神の慈しみと厳しさを考え」ましょう。

[木]神は、一度救われた者を決して見捨てられず、一人一人を愛し抜いて下さる方です。「神の賜物と招きとは取り消されない」のですから、自分の不従順に嘆き苦しむことはありません。むしろ、救われた喜びを自分の生涯をかけて証しましょう。

[金]12章からは信仰の実践編です。礼拝は心だけではなく、体を「生けるいけにえ」として献げることで、痛みが伴います。この世の付き合いや習慣に倣ってはいは、神第一の生活はできません。神のみ心を求めて、神に喜ばれる生活をしましょう。

[土]「上に立つ権威」であるなら、どんな悪政でも従えということではありません。神によって立てられた公正な権威には従うべきですが、神に逆らう権威には従うべきではありません。いつも主の権威を身にまとい、主のみ心を行いましょう。



NO.1975 2026.8/2-8

名前

	聖書	問題	答え
日	ローマ 9:19-10:4	神は私たちを何として召し出してくださいましたか。	
月	10:5-21	実に、人は心で信じて義とされ、口でどうしたなら救われますか。	
火	11:1-10	現に今も、恵みによってどんな者が残っていますか。	
水	11:11-24	だから、神の慈しみと何を考えるべきですか。	
木	11:25-36	神の賜物と招きとは、どうされませんか。	
金	12:1-21	自分の体を神に喜ばれる何として献げるべきですか。	
土	13:1-14	愛は律法をどうするものですか。	
感想と祈りの課題			